



## 和歌山の文化、競書会

3学期は始まり、2週間がたちました。カレンダーを見ると1月もあと1週間となりました。よく昔から、「1月は行く」と言われるように、早く感じます。



さて、毎年冬になると学校では「競書会（きょうしょかい）」の練習が始まります。先週、校内で書き初め競書会の本番がありました。この競書会は、和歌山県民ならだれもが競書会を経験したことがあると言ってもいいほど、和歌山県内の学校では普通に行われています。しかし、この取り組みは、全国的なものではないそうです。

競書会の「競書」は、「書を競う」という文字から分かるように、習字の腕前を競い合う競技のことです。調べてみると、日本には創玄書道会主催の「全国競書大会」などの大会があります。しかし、これらは、毛筆の大会です。それが、和歌山県では硬筆（鉛筆）の部もあります。

では、なぜ和歌山県で競書会が特に盛んに行われるようになったのか。それは、和歌山市出身の書道家・天石東村（あまいし とうそん）さんの存在があります。天石さんは、高等学校の教員であり、小・中・高校の教科書を編集執筆されていました。1948年に「県書道教育連盟」を立ち上げ、同年には第1回の競書会を開催しました。今年が2023年なので、75年前になります。その後、1967年からは和歌山市で、市民憲章を広く知ってもらうために「和歌山市民憲章硬筆競書会」が始まりました。

私自身、小学生の頃には、1学期に市民憲章、2学期と3学期に競書会と年3回あったように記憶しています。

岩出市では、3学期に書き初め競書会と岩出市の市民憲章を毎年3年生と5年生が岩出市文化祭に出展しています。

競書会の取り組んだ結果としては、金賞や銀賞、中央展に出展されるなど審査がありますが、日本語の漢字やひらがなの字体や字形などの技術だけでなく、書く姿勢や集中力なども養われていくと思います。

もう一歩進むと、普段の字を丁寧に美しく整えて書けるのが一番です。私も含めて頑張りましょう。



## インフルエンザも流行の兆し

依然、新型コロナウイルス感染症の第8波については、毎日のように報道されています。山崎小学校では、未だ陽性者や濃厚接触者があとを絶ちません。引き続き、感染防止対策を学校でも取り組んでいきますので、家庭でもよろしくお願ひします。



さて、過去2年間「インフルエンザ」について聞こえてこなかったのですが、ここに来て、山崎小学校でもインフルエンザに罹ったと報告を受けるようになってきました。インフルエンザに罹患すると、最低でも5日間かつ解熱後2日間を経過するまで自宅待機（出席停止）となります。但し、同居の兄弟等については、登校は可能です。（新型コロナウイルスの場合は、濃厚接触者は自宅待機となります。）

ここで、発熱の症状が出たとき、「新型コロナウイルス」か「インフルエンザ」かの判断が難しいと思います。発熱があった場合は、必ず医療機関を受診していただき、発熱の原因を確認してください。

## 2月の主な行事予定

- 2月 2日（木）動物の赤ちゃん授業（1年）
- 7日（火）薬物・アルコール防止教室（6年）
- 9日（木）岩出中学校入学説明会（6年）
- 10日（金）避難訓練（不審者対応）
- 11日（土）建国記念の日
- 11日（土）・12日（日）競書会中央展（橋本市教育文化会館）
- 12日（日）市町村対抗ジュニア駅伝競走
- 16日（日）授業参観（2限目…1・3・5年、3限目…2・4・6年）
- 17日（金）クラブ活動（3年見学）
- 21日（火）命の授業（6年）・漢字の博士試験
- 23日（木）天皇誕生日
- 24日（金）6年生を送る会



行事につきましては、諸般の事情で変更する場合があります。

## 「あい」のある学校の風景



【園芸委員】



【長距離走・練習】



【児童会役員選挙】